

Ⅲ 専門部の取組

1 授業研究部

(1) 授業研究会・事後検討会の実施

教科・領域部会で指導案を検討し、以下の日程で授業研究会を実施した。授業実践後は全体または部会で事後検討会をもち、本研究の視点1を受けて設定した手立てに沿って、成果・課題を協議した。課題は次の研究授業へ引き継ぎ、主体的・対話的で深い学びの実現に迫るために、どのようなことに留意して授業をつくっていくべきかを話し合い、授業改善の方針を全職員で共有するようにした。

日付	教科	授業者	『单元名』	○主な学習活動
6月2日 指導主事学校 訪問(B)	国語科	教諭 岩渕 久恵 [3年1組]	「物語のしかけをさがそう 『ゆうすげ村の小さな旅館』」	○出来事を読み取り、人物の様子や気持ちを想像する。
	算数科	教諭 庄司 慶裕 [5年2組]	「小数のかけ算を考えよう」	○積と被乗数の大小に着目して、被乗数と積の大小関係について、数直線を用いて考える。
	社会科 (海 洋)	講師 米倉 佑喜 [4年1組]	「水はどこから」	○水源の森を守る取組について話し合う。
6月28日	国語科	教諭 小野 美由起 [6年1組]	「新聞の投書を読んで意見を書こう 『新聞の投書を読み比べよう』」	○四つの投書の中から、読み手を説得するための工夫について読み取る。
6月29日	算数科	講師 熊谷 志保 [5年1組]	「小数のわり算を考えよう」	○被除数と商の大小に着目して、被除数と商の大小関係について、数直線を用いて考える。
7月14日	社会科 (海 洋)	教諭 小山 由那 [3年2組]	「わたしたちのまち みんなのまち 『市の様子』」	○写真や地図などを活用して調べ、気仙沼港のまわりの様子について考える。
7月14日	生活単元・ 自立活動 (海 洋)	教諭 尾形 礼子 教諭 菊地 久子 [特別支援合同]	「海の生き物を知ろう 『カレンダーに生かして』」	○海の生き物の名前や生活の様子を知り、カレンダーの題材となる海の生き物を決めて絵を描く。
9月1日 指導主事学校 訪問(C)	国語科	教諭 松岡 恵理 [1年1組]	「かいがら」	○場面の様子を読み取り、登場人物の気持ちを想像する。
	算数科	講師 佐々木 早智	「ひっ算のしかたを考えよう」	

			[2年2組]	○問題場面から数量の関係をとらえ、立式し、筆算の仕方を考える。
	理科 (海洋)	教諭	渡邊 一磨 [6年2組]	「大地のつくり」 ○水の働きでできた地層のできかたを考え、水槽に土を流し込むモデル実験を通して調べる。

(2) 授業検討会の記録

【授業研究会の流れ】

- ・教材研究と授業の構想づくり（授業者→各部）
- ・指導案作成（授業者）
- ・授業のねらいと手立ての検討（各部）
- ・模擬授業または事前授業と検討会（各部）
- ・研究授業（授業者）
- ・事後検討会（各部または全職員）

＜授業研究部＞

成果・課題の検討と整理



次回の授業研究会へ

記録1 ＜第6学年1組 国語科＞

(1) 授業の概要

- 単元名** 新聞の投書を読んで意見を書こう「新聞の投書を読み比べよう」
- ねらい** 四つの投書の中から読み手を説得するための工夫を見付け、それがどのような工夫なのかを考える。 【読むこと】
- 手立て** ①読み手を説得するための筆者の工夫を捉えるためにグループ学習を取り入れ、新たな気付きや疑問を生み出す。4人グループで個の考えを伝え合った後に各グループのリーダーが司会役となり、読み手を説得するための工夫を検討する。 【視点1ーイ】
- ②本時に学んだことや気付いたことをノートに書き、自分が投書を書く際に取り入れたい読み手を説得するための工夫を考えさせ、次時につなげる。 【視点1ーウ】

(2) 事後検討会から

視点1ーア 思いや考えをもたせる工夫について

〈課題発見〉

○前時の学習の振り返りを活用したことが、本時の課題へとスムーズにつながっていた。

●導入で投書①を例にして話し合った後に、「投書②～投書④でも工夫を見つけよう」と問いかけた課題を設定する方法もある。

〈見通し〉

○拡大した投書文の提示、色分けなど児童が分かりやすい工夫がなされていた。

○投書①をみんなで話し合い、まとめたことが投書②～投書④の読み取りの見通しにつながった。

視点1ーイ 思いや考えを伝え合わせる工夫について

○投書①は全体で話し合い、投書②～投書④についてはグループごとの分担とした。

始めはノートに個人の考えを書かせ、その考えを基にグループで話し合いを行った。グループでの伝え合いが習熟していた。ミニ黒板に書く段階で、話し合いが深まった。その後、全体に発表し、学びを深めさせていく流れが良かった。

○お互いの考えを伝え、話し合い、1つにまとめるということができていた。

●説明文と物語文ではまとめ方が違うので、それぞれのまとめ方を工夫していく必要がある。

視点1ーウ 学びの成果を実感させるための工夫について

○振り返りでの児童の記述がよくできていて、普段からの学習訓練がよくなされている。

○振り返りで、「自分が投書に書くときに取り入れたい視点」を考えさせることで、一人一人が学びの成果を感じていた。

●振り返りがしっかりできていたので、その後に児童同士が伝え合うことも取り入れ、学びの実感につなげていきたい。

(3) 今後の授業づくり・授業改善に向けて

視点1ーア 導入の段階で前時の振り返りを生かして課題設定へとつなげる。

視点1ーイ 各学年段階での伝え合わせ方を工夫し、児童に伝えることの楽しさを味わわせるようにする。

視点1ーウ 物語文のまとめ方に工夫し、学びを実感させられるようにする。



〈個の考えを班で共有する場面〉



〈班の考えを全体で共有する場面〉

記録2 <第5学年1組 算数科>

(1) 授業の概要

単元名 小数のわり算を考えよう

ねらい 純小数でわると商は被除数より大きくなることを理解する。

【数学的な考え方】

手立て ①前時までの問題場面との違いと比較し、疑問や気づきを学習課題として設定し、学習意欲をもたせる。 【視点1ーア】

②対話的な学びを通して考えを共有するために、問題文から捉えたことを自分の方法でまとめさせる。 【視点1ーイ】

(2) 事後検討会から

視点1ーア 思いや考えをもたせる工夫について

〈課題発見〉

○前時までの問題場面との違いを比較し、学習課題を設定していた。

- 日常生活と関連をもたせることで、課題と結びつけられたのではないか。
- 立式でわる数に目を向けさせ、考えを広げても良かったのではないか。

〈見通し〉

○何を使って課題解決に取り組むか、すばやく見通しをもたせることができた。

- 言葉で言わせるだけでなく、深いところまで考えさせても良かった。
- ヒントカードの種類を増やすことで、考えが多様化できたのではないか。

視点1ーイ 思いや考えを伝え合わせる工夫について

○自分が気付けなかったことに、友達の発言により気付くことができた児童がいた。

- グループ学習では、必ずしも意見をまとめる必要がないのではないか。

(3) 今後の授業づくり・授業改善に向けて

視点1ーア 児童が理解しやすいようなめあての立て方を工夫する。

ヒントカード等を意図的に活用し、いろいろな方法で問題解決ができるようにする。

視点1ーイ 学び合いは、児童の実態に応じて、指導者がいくつかの方法の中から選択して行わせるようにする。

視点1ーウ 振り返りができるように時間配分を工夫する。



〈個の考えを班で共有する場面〉



〈班の考えを全体で共有する場面〉

記録3 <第3学年2組 社会科(海洋教育)>

(1) 授業の概要

単元名 わたしたちのまちみんなのまち『市の様子』

ねらい 気仙沼港のまわりの様子について、写真や地図などを活用して調べ、特徴的な場所の様子について気付くことができる。【観察・資料活用の技能】

手立て ①港の機能を理解させるために、海を使った輸送の利便性や工場から生産されている物が分かる資料を提示する。【視点1ーア】

②気仙沼港の漁港としての機能に気付かせるために、仙台港との相違点を話し合わせる。【視点1ーイ】

③気仙沼港のまわりの様子について、校外学習で見学したことや家庭学習

で調べたことを本時の学習活動に生かす。

【視点2ーイ】

(2) 事後検討会から

視点1ーア 思いや考えをもたせる工夫について

〈課題発見〉

- ICT 機器を活用したことで、児童が集中している姿が見られた。
- 気仙沼港の校外学習から思い出させたのはよかった。
- 「船」というキーワードは児童の発言から引き出せるとよかった。
- 課題設定につなげるために、「魚（荷物）」に関する数値を活用するとよい。

〈見通し〉

- 調べる見通しをもたせたことで、校外学習で使ったワークシートや絵地図を資料として活用できた。
- 画面に写した地図や壁に掲示してある絵地図を見に行くことで、解決に必要な情報を児童自ら得ようとしていた。
- 県の地図を常時掲示しておくとうい。

視点1ーイ 思いや考えを伝え合わせる工夫について

- 仙台港と気仙沼港の「違い」をペアで話し合わせてから、全体で発表だったので、自信を持って手を挙げていた。
- 仙台港と気仙沼港の「違うところ」を探させたが、「同じところ」を探させるのもよかった。
- 話し合いが成立しないペアが見られた。形態を3人にして、全員が話し合いに参加できるようにするとよかった。話し合いをリードできる児童を育てていく必要がある。

視点1ーウ 学びの成果を実感させるための工夫について

- 自分の市への誇り、愛情的な部分に迫ることができた。
- 地図記号を使って調べ、港の周りの様子を読み取ろうとする姿が意欲的だった。

(3) 今後の授業づくり・授業改善に向けて

視点1ーア 日常的に地図を掲示し、身近なものとして捉えさせる。

視点1ーイ グループの構成を場面設定によって工夫する。

視点1ーウ 工場見学や聞き取り調査を学習活動に取り入れ、進んで調べまどめの活動につなげる。



<気付いたことをペアで共有する様子>

<ペアで話し合ったことを紹介する様子>

2 調査資料部の取組

(1) 実態調査アンケートの実施

[目的]

各教科・領域の学習に対する児童の意識を調査して変容を考察するとともに日々の授業実践に生かす。

[内容]

以下の3項目について調査を行う。

- ・各教科・領域の学習に対する児童の「関心・意欲・態度」について
- ・児童の「学び方」について
- ・児童が各教科・領域の学習の「有用性」を感じているかどうかについて

[方法]

学級ごとに実態調査アンケート（質問紙法）を実施し、意識調査を行い変容を考察する。

[計画]

- 6月・・・第1回実態調査アンケートの実施
- 7月・・・第1回実態調査アンケートの集計と考察
- 1月・・・第2回実態調査アンケートの実施
- 1月・・・第2回実態調査アンケートの集計と考察並びに第1回との比較

(2) 実態調査アンケートの調査項目

国語の学習 アンケート (3～6年)

年 組 番

氏名 ()

☆ あなたは国語についてどのように思っていますか。あてはまるものを1つずつえらんでください。

あてはまる	どちらかと いえば、あ てはまる	どちらかと いえば、あ てはまらな い	あてはまら ない
-------	------------------------	------------------------------	-------------

- 1 国語の勉強は好きです。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 2 国語の勉強は大切です。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 3 国語の授業の内容は、よく分かります。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 4 読書は好きです。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 5 国語の授業で今日のめあてや目的が分かって
取り組んでいます。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 6 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分
の考えを話したり、書いたりしています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 7 国語の授業で発表するとき、うまく伝わるよ
うに話の組み立てを工夫しています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 8 国語の授業で考えを書くとき、考えの理由が
分かるように気をつけて書いています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 9 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のま
とまりごとに内容を理解しながら読んでいま
す。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 10 国語の授業で学習したことは、将来社会に出
たときに役に立つと思います。----- 1 - 2 - 3 - 4

海洋教育 アンケート (3～6年)

年 組 番

氏名 ()

☆ あなたは「海に関する学習」についてどのように思っていますか。あてはまるものを1つずつえらんでください。

あてはまる	どちらかと いえば、あ てはまる	どちらかと いえば、あ てはまらな い	あてはまら ない
-------	------------------------	------------------------------	-------------

- 1 「海に関する学習」は好きです。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 2 「海に関する学習」は大切です。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 3 「海に関する学習」の内容は、よく分かります。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 4 観察・実験や調査は好きです。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 5 「海に関する学習」で今日のめあてや目的が分
かって取り組んでいます。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 6 「海に関する学習」で自分の予想をもとに、観察や
実験、調査の計画を立てています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 7 「海に関する学習」で観察や実験、調査の結果から
どのようなことが分かったのか考えています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 8 「海に関する学習」で観察や実験、調査の進め方
考え方がまちがっていないかをふり返って考えま
す。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 9 「海に関する学習」で、自分の考えをまわりの人に
説明したり発表したりしています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 10 「海に関する学習」で学習したことを、ふだんの生
活の中で活用できないか考えています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 11 「海に関する学習」で学習したことは、将来社会に
出たときに役に立つと思います。----- 1 - 2 - 3 - 4

算数の学習 アンケート (3～6年)

年 組 番

氏名 ()

☆ あなたは算数についてどのように思っていますか。あてはまるものを1つずつえらんでください。

あてはまる	どちらかと いえば、あ てはまる	どちらかと いえば、あ てはまらな い	あてはまら ない
-------	------------------------	------------------------------	-------------

- 1 算数の勉強は好きです。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 2 算数の勉強は大切です。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 3 算数の授業の内容は、よく分かります。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 4 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、そ
れを解きたいと思います。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 5 算数の授業で今日のめあてや目的が分かって
取り組んでいます。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 6 算数の問題の解き方が分からないときは、あ
きらめずにいろいろな方法を考えます。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 7 算数の授業で学習したことを普段の生活の中
で活用できないか考えます。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 8 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に
解く方法がないか考えます。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 9 算数の授業で公式やままりを習うとき、その
わけ理解するようにしています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 10 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かる
ようにノートに書いています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 11 算数の授業で学習したことは、将来社会に出
たときに役に立つと思います。----- 1 - 2 - 3 - 4

・実態調査アンケートは平成28年度と調査項目を
同一にして実施する。

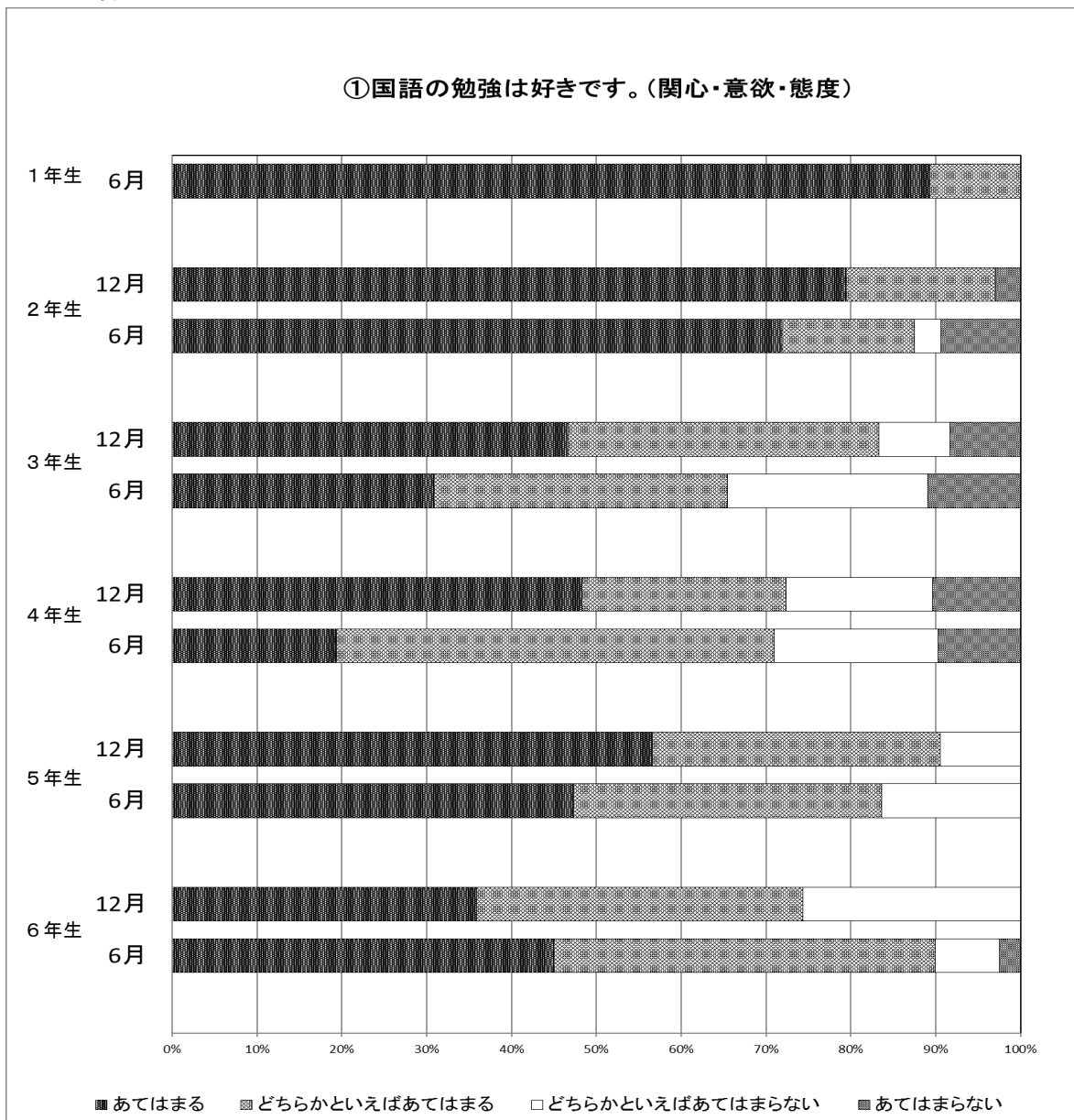
・全国学力・学習状況調査の質問紙調査を基に、調
査項目には「関心・意欲・態度」「学び方」「有用
性」の3つの柱を設け、アンケート調査を実施し
た。

・アンケートは6月と12月に実施し、研究の視点
に沿って講じた手立てや日々の授業改善による児
童の変容を調査するために実施する。

・次ページからは、3つの教科・領域の学習につい
て、3つの柱の中からそれぞれ一つの調査項目と
児童の変容の様子を取り上げ、結果から考察した
全体傾向と研究の視点に沿ってさらに講じていき
たいと考える手立てを記述した。

(3) 実態調査アンケートの結果の考察

<国語科>



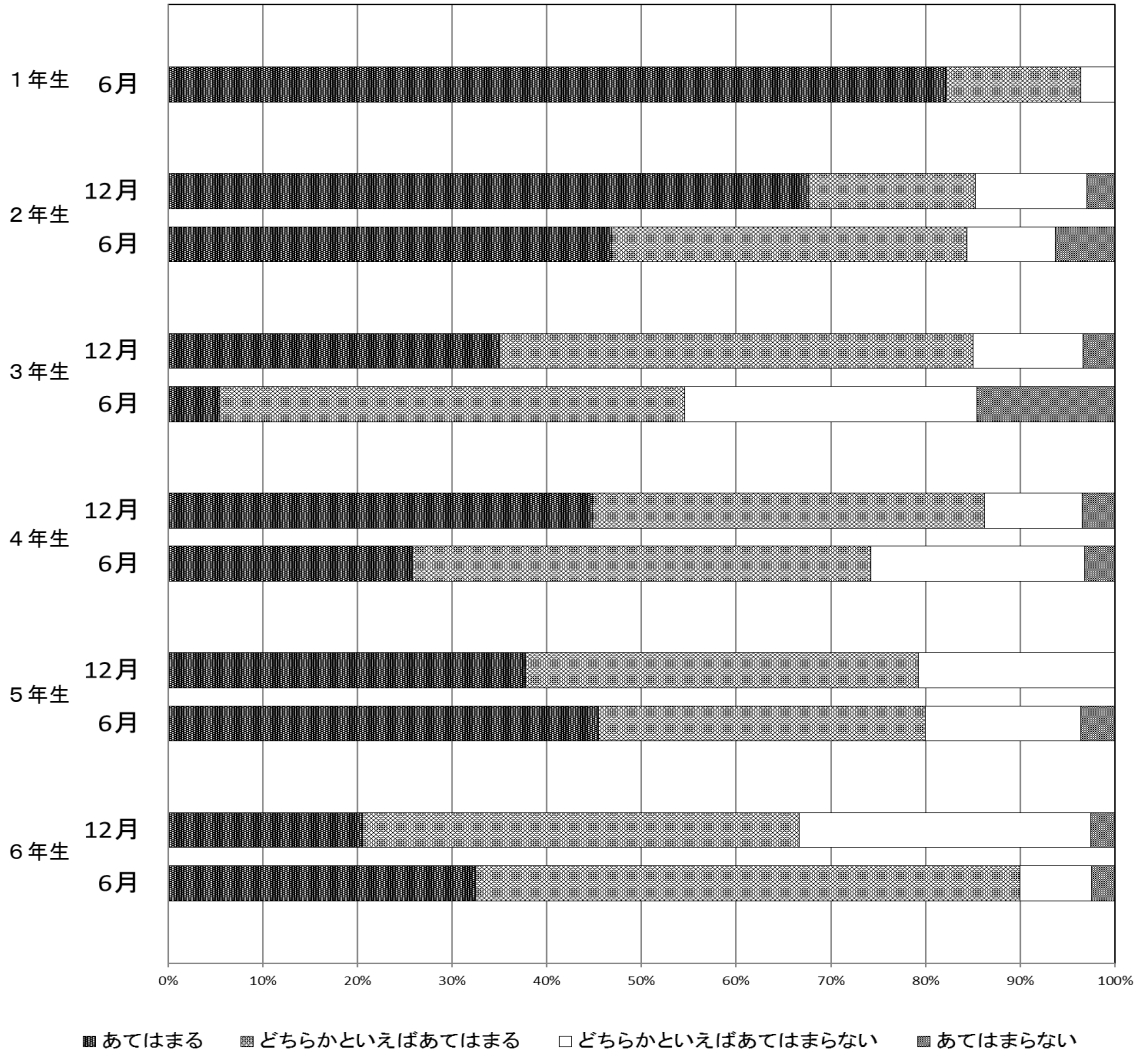
全体傾向

- ・ 1年と6年は国語を好きと答えている児童が多い。1・2年生は新しく学ぶことへの興味や関心の高さが伺え、6年生は、自分の考えを伝え、友達と共有し、更に考えを深める授業を意識した成果が表れている。他の学年は、昨年度と比較すると減少しているが、学年が上がったことで学習内容が難しくなってきたので、国語の学習は大切だと感じてはいるが苦手意識をもち始めていると考える。

視点1ーアとの関連から

- ・ 今後も継続して並行読書に取り組みませ、学習活動への意欲を高めていきたい。
- ・ 児童の気付きや思いを大切に課題を設定していくことで、意欲的に授業に取り組みませたい。

⑦国語の授業で発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫しています。(学び方)



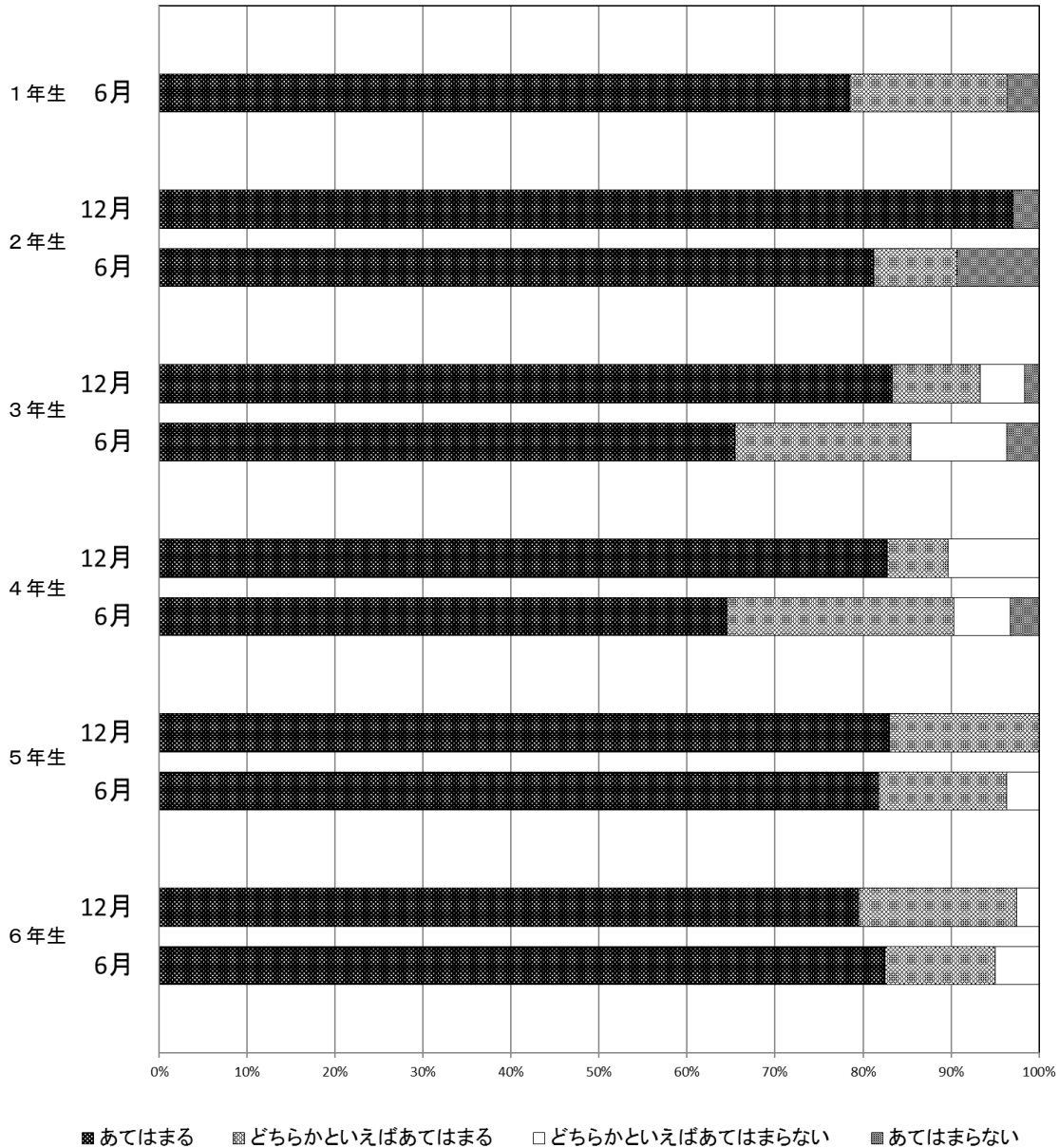
全体傾向

- ・低学年では、自分の考えを伝えたいという意欲が高い。中学年では、自分の考えを分かりやすく伝えるための手段や方法で悩んでいるためか、昨年度と比較すると減少傾向が見られる。しかし、高学年では、全体の前で話す機会が増えたことにより、分かりやすく自分の考えを伝えようとする児童が増えてきた。

視点1 イとの関連から

- ・自分の考えを分かりやすく話したり相手に質問したりさせるために自分の考えと友達考えとの類似点や相違点をノートにメモさせることで、自分の考えに自信をもたせ、対話的な学びの中で自分の考えを友達に伝えようとする児童を目指していきたい。
- ・ペアまたはグループでの話し合いを深め、全体で共有する場を授業の中で実践していく。
- ・対話的な学びでは「対話的な学びのモデル」(別紙3)を活用しながら深い学びを目指していきたい。

⑩国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思います。(学び方)



全体傾向

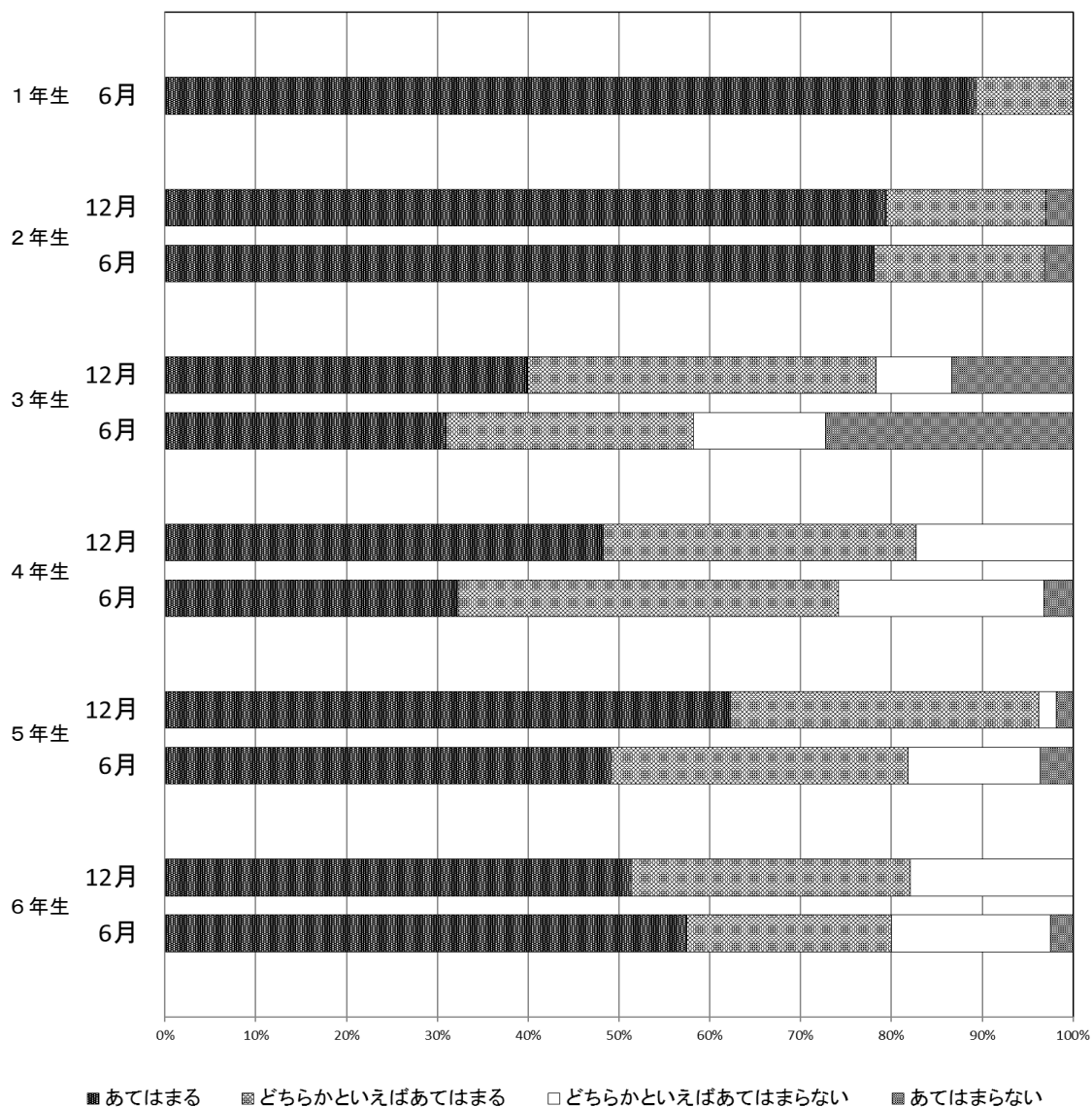
- ・有用性については理解しているものの、中学年においては減少している。高学年ではこれまで学習したことを発信する機会があり、学んだことを生かす場を経験することができている。中学年では、学習したことを発信する場があまりなく、学習したことを生かす経験が少ないためと考える。

視点2ーアとの関連から

- ・他教科との関連を図り、学習したことが生かされているという実感をもたせていく必要があると考える。

<算数科>

①算数の勉強は好きです。(関心・意欲・態度)



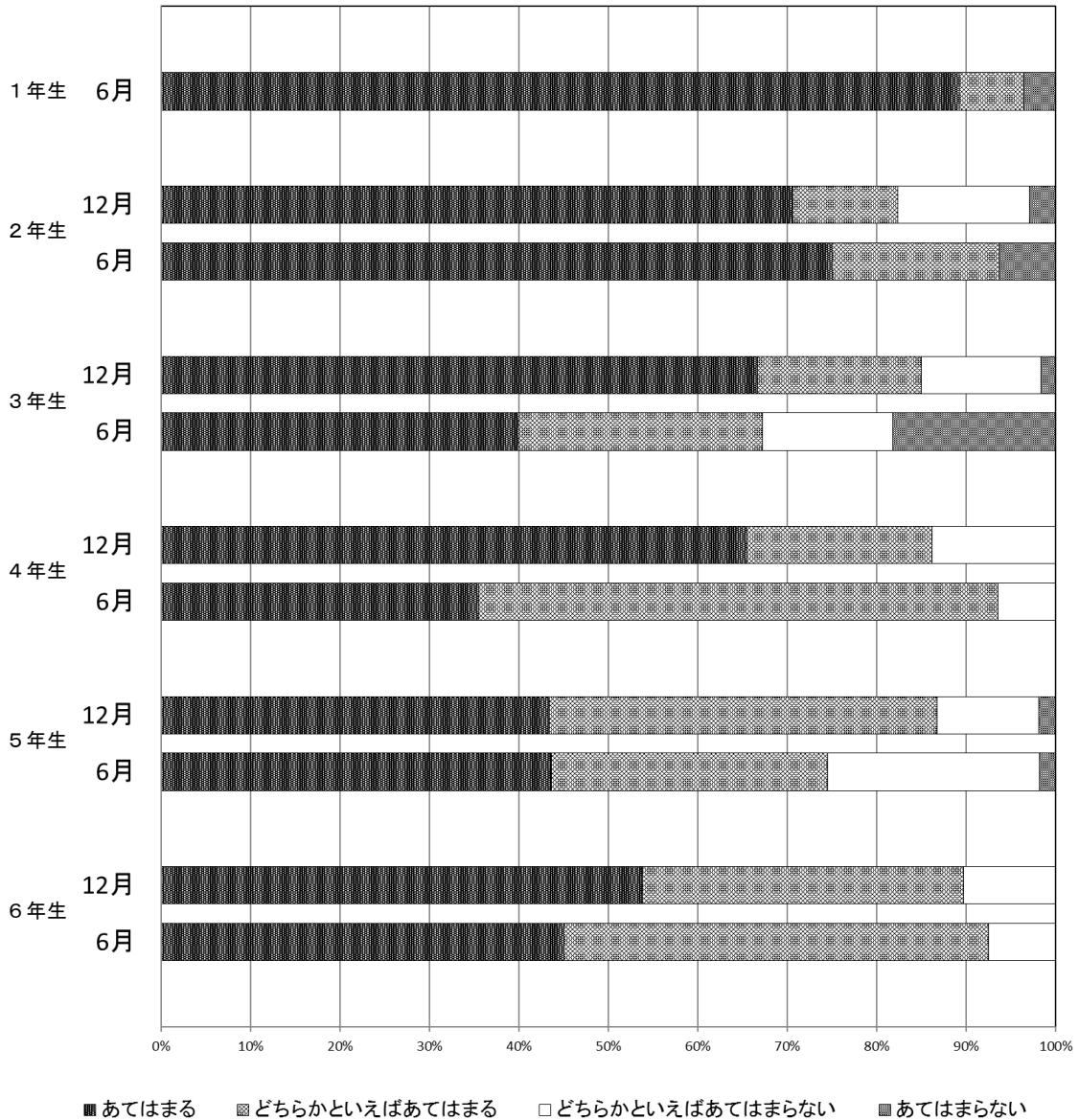
全体傾向

- ・低学年は、できた喜びや楽しさを実感することができるため、好きと答える児童が多い。しかし、中・高学年は、学習内容が学年を追うごとに難しくなり、できた喜びやわかる楽しさを実感することが少なく、苦手意識が強くてきていると考えられる。

視点1ーイとの関連から

- ・昨年から継続して、課題を解決できたという経験を多く積みせることが、児童の達成感をもたせることにつながると考える。今後も既習事項を基にしたり、自力解決をするための手立てを工夫したりすることで関心意欲を高めていきたい。

⑥算数の問題の解き方が分からないときは、
あきらめずにいろいろな方法を考えます。(学び方)



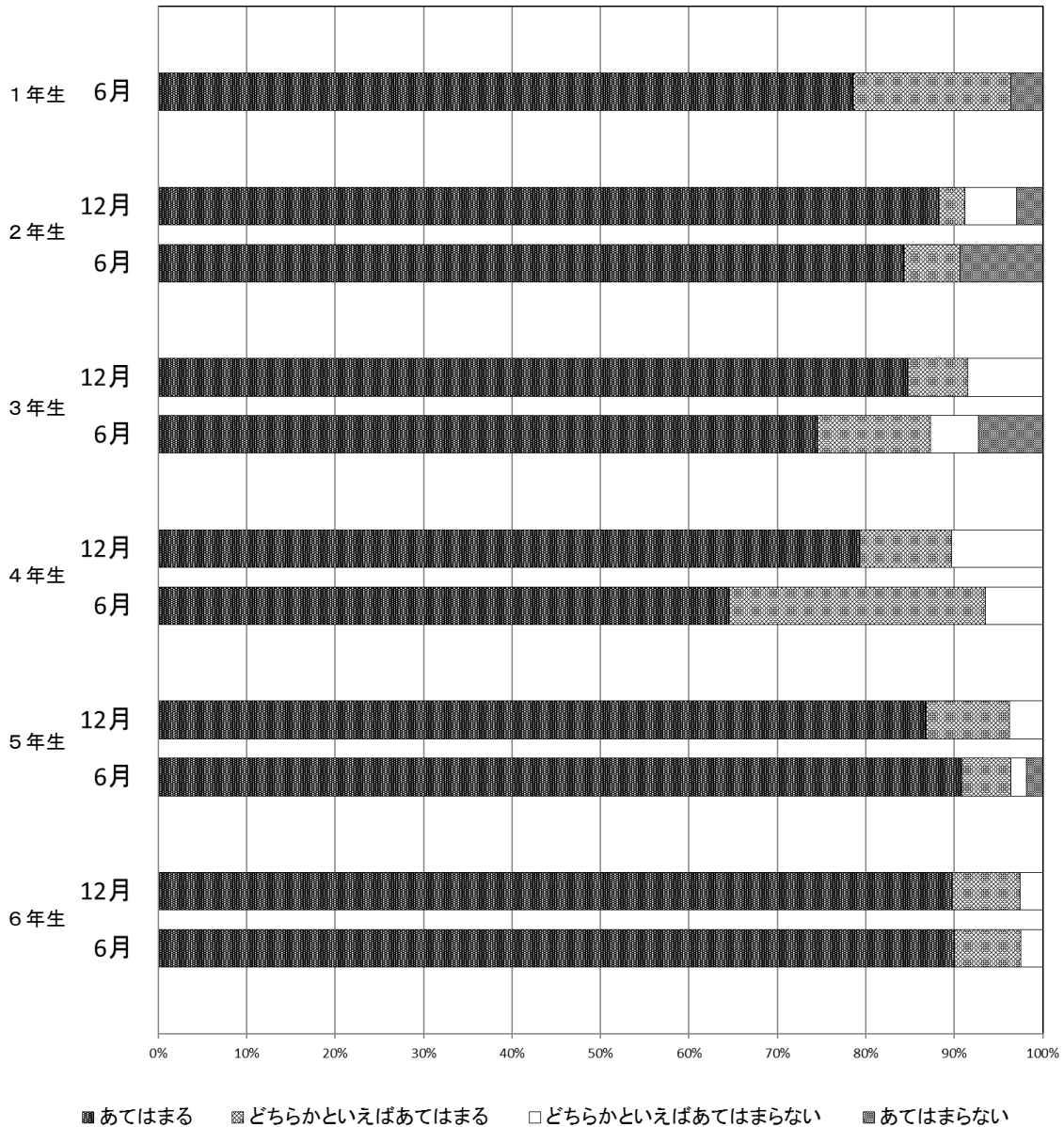
全体傾向

- ・学年によって「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えている児童が昨年度と比べ、増えているところと減っているところが見られる。
- ・問題を解くために必要なきまりや公式などの既習事項が身に付いていないため、解決の見通しをもつことができない。また、解決しようとする意欲の持続が難しいことが考えられる。

視点1ーイとの関連

- ・じっくり考え答えを導き出すことが得意な児童もいるので、深い考えを共有しながら、個々が自分の考えをもてるようにしていく。

⑪算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思います。(有用性)



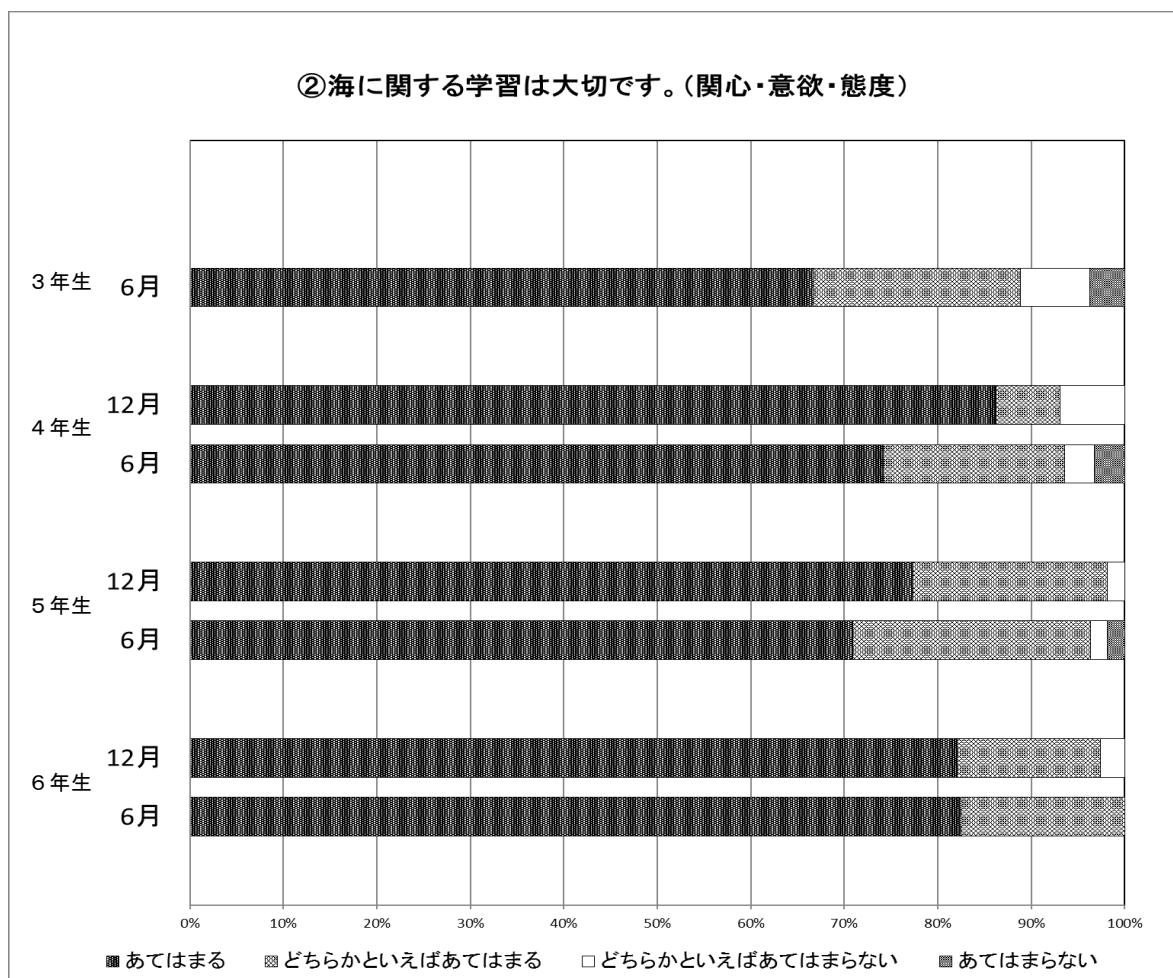
全体傾向

- ・あてはまると答えている児童が全体的に多い。日常生活の場面を学習問題として課題設定に生かす授業を継続してきたことの成果と捉える。

視点2-アとの関連

- ・普段の生活や、どのようなことに役立つのかを明らかにし授業を進めることが、課題解決の意欲につながると考える。また日常に即した問題場面を提示し、学習の有用性を実感させる働き掛けも、継続して行う必要がある。

<海洋教育>



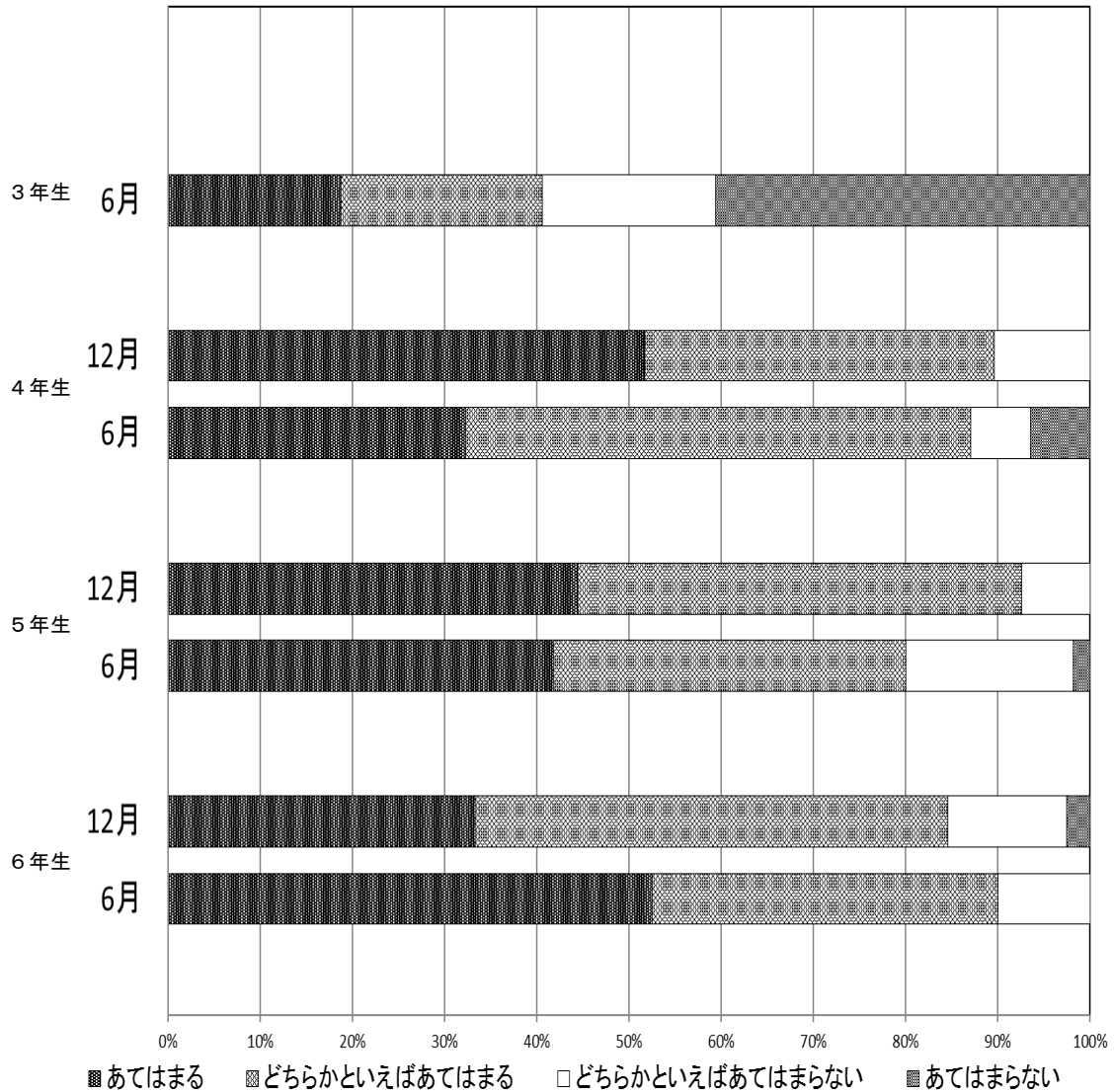
全体傾向

- ・海に関する学習が大切だと考える児童の割合は全体的に高い。社会・理科・総合的な学習の時間に海に関する学習を行ったことで、海洋教育がより身近なものになり、海に関する学習が大切だと考える児童が多い。

視点1 アとの関連から

- ・海と密接に関わっている気仙沼に目を向けさせたり、これまで同様に海に関する情報を手に入れ課題設定に生かしたりする。また、課題解決し学んだことを発信する場を設けていきたい。

⑤海に関する学習で今日のめあてや目的が
分かって取り組んでいます。(学び方)



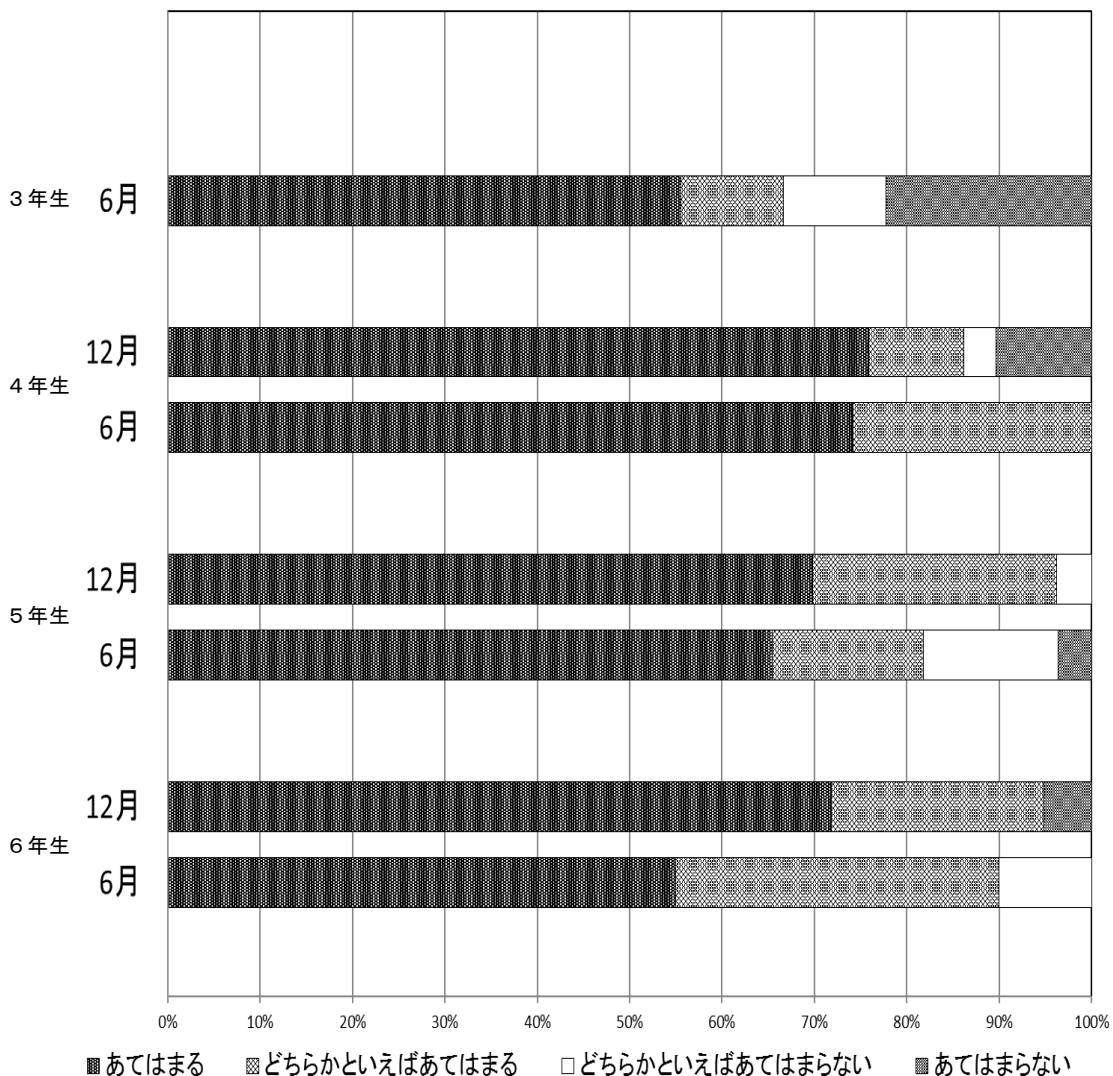
全体傾向

- ・ 6年生に関しては「当てはまる」と回答した児童の割合が大きく増加した。海洋教育部では授業のねらいを達成するために地域素材の海を教材として扱っているが、児童にとって関心のある海を教材として扱うことで、教科本来のねらい達成の意識が希薄になってしまうことが課題である。

視点1ーウとの関連

- ・ 海を身近な存在として捉えているかどうかについての個人差が大きいため、海に関係する自然事象について見聞きしたことがない児童も多くいる。授業の終末部分においては、学習内容と海に関する自然事象とを、教師が結び付けていく必要がある。

⑪海に関する学習で学習したことは将来
社会に出た時に役立つと思います。(有用性)



全体傾向

- ・どの学年においても海について学ぶことに有用性を感じている児童の割合は全体的には高いといえる。川や海の水について学んだり、地域人材を有効に活用したりしたことにより、地域の豊かな海を守ることの大切さについて興味をもつようになった。

視点2ーアとの関連

- ・地域人材の活用や水産業に関するゲストティーチャーを多く招き、情報を多く得ることによって海に関する学びが将来に役立つと思う児童が増えていくと考える。

(4) 全国学力・学習状況調査の結果から

① 学力調査の結果から

○全国平均を若干上回っている：国語 A, 国語 B, 算数 A

●全国平均を若干下回っている：算数 B

国語科		算数科	
概ね身に付いていること (正答率が高かった問題)			
<ul style="list-style-type: none"> ・正しく漢字を読むこと。 ・正しく漢字を書くこと。 ・ことわざを正しく使うこと。 ・手紙の後付けを正しく書くこと。 		<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の答えを分数で表すこと。 ・小数のかけ算の答えを整数同士のかけ算に置き換えて求めること。 ・2つの数の最小公倍数を求めること。 ・整数と小数が混合したたし算とかけ算を正しく計算すること。 	
更に身に付けさせたいこと (正答率が低かった問題)			
A	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話を良く聞き, 学級文集のふさわしいタイトルを考えること。 ・古文を読み, 内容を正しく理解すること。 ・俳句の良さを理解するとともに, 情景を正しく想像すること。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・円を使って, 正五角形を正しく作図すること。 ・面積が平行四辺形の半分の三角形を選ぶこと。 ・立方体の展開図から平行な面を理解すること。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの前にメモを作成しておくことの良さを理解すること。 ・目的や意図に応じて, 作文する文章全体の構成を考えること。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶこと。 ・仮の平均を用いて, 測定された平均値を正しく求めること。 ・2桁の数のひき算の答えの求め方のきまりを考えること。

②学習状況調査の結果から

良い点 (全国よりも良い児童の割合が多い項目)	改善が必要と思われる点 (全国よりも良い児童の割合が少ない項目)
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日, 同じくらいの時刻に寝て起きている。 ・平日家庭で, テレビ, ビデオ, ゲームをする時間が短い。 ・家で, 学校の授業の復習をしている。 ・学校に行くのが楽しいと思う。 ・将来, 外国へ留学したり, 国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う。 ・ノートに学習のねらいやまとめを書いている。 ・国語科と算数科の勉強が好き。 ・国語科の授業で学習したことは, 将来, 社会で役立つ。 ・算数科の授業で, 公式やきまりの理由を理解するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものごとを最後までやり遂げて, うれしかったことがある。 ・自分には良いところがある。 ・地域でボランティア活動に参加したことがある。 ・話し合う活動で, 相手の考えを良く聞き, 自分の考えをしっかりと伝えていた。 ・国語科の文章で答えを書く問題を, 最後まであきらめずに書こうと努力した。 ・算数科の授業で, より簡単に解く方法はないか考える。 ・算数科の授業で, 問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

<第1学年> (現2年生)

国語

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・「言語についての知識・理解・技能」については定着が見られる。 ・「話す・聞く能力」「読む能力」が全国平均を下回っており、補充学習が必要である。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名や片仮名、漢字の書き取りができた。 ・助詞「は」「へ」「を」を正しく使うことができた。 ・登場人物の様子を読み取ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いて、質問を理解し答えることが難しかった。 ・絵を見て、どんなことを書けばよいかを選ぶことができなかった。 ・おもしろかった本について、話すとよいことを選ぶことができなかった。
＜必要と思われる取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習を継続して取り組ませ、文章の中で活用できるようにしていく。 ・学習の時間や明日の用意を書くときなど、担任の話聞いて大事なことを落とさないようにメモする習慣をつける。話を聞くために必要なスキルを身に付けさせていく。 ・好きな本について、友達同士やクラスの中で紹介し合う時間を設け、話す内容を考えて発表させていく。また、好きな本の紹介カードを作成し、掲示していく。 ・いろいろな場面で文章を書く活動を今後も取り入れていく。助詞に気を付けて書いたり、どんなことを書くとよいのかを考えさせたりしていく。 	

算数

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・「算数への関心・意欲」は高いものの、数量や図形についての「技能」や「知識・理解」は十分に定着していない。 ・「数学的な考え方」を問われる問題を苦手とする児童が見られた。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・数の大小を理解し、問題を解くことができた。 ・長さやかさの比較の仕方を理解し、答えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を理解して、式を立てることができなかった。 ・絵を見てひき算の問題を作る場面で、正しい問題を選ぶことができなかった。 ・ひき算カードの並び方の問題の意図を把握できなかったために、誤答や無回答が多かった。
＜必要と思われる取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・文章題に取り組ませる。分かっている数字やキーワードとなる言葉を見つけさせ、全員でキーワード等を共有して、式を立てることができるようにする。 ・絵を提示し、たし算やひき算の問題作りをする。タブレットや大型テレビ等の機器も活用し、友達やクラス全体で発表し合い、実際に問題を解く場面も設ける。 ・授業だけでなく、スキルタイムの時間も活用し、たし算やひき算のカードに取り組ませていく。気付いたことを発表したり、クイズを出し合ったりしていく。 	

<第2学年> (現3年生)

国語

<全体傾向>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く能力」「読む能力」については全国平均と同程度だった。 ・「言語についての知識・理解・技能」は定着が見られる。 ・「書く能力」を問う問題を苦手とする児童が全国と比較するとやや多い。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・内容や書いてある要旨を聞き取ることができた。 ・漢字の「読み」,「書き」ができた。 ・話すとよいことや発表する時によいものなどの話す材料を選ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く順序」や「自分の考えを書く」ことができなかった。 ・大事な言葉や行動, 気持ちの読み取ることができなかった。 ・主語, 述語を見付けることができなかった。
<必要と思われる取組>	
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定に向けての練習が励みになり, 力も付いたので, 今後も目標をもって漢字練習をさせる。 ・学級でのスピーチの習慣が役に立ったと思うので, 継続する。 ・主語, 述語を意識した短文づくりなどを家庭学習やスキルタイム等で継続する。 ・プリント学習等で, 読解問題に慣れさせる。 	

算数

<全体傾向>	
<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形についての「技能」を問う問題の正答率は全国平均とほぼ同程度だった。 ・「数学的な考え方」を必要とする問題を苦手とする児童が見られた。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ, 表を作成することができた。 ・加法, 減法を適用し, 立式することができた。 ・数直線を正しく読み取ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算を活用し解決する問題が全体的にできなかった。 ・「かさ」と「時刻」を正しく答えることができなかった。 ・$25 + (17 + 3)$ を工夫して計算する順序を選ぶ問題ができなかった。 ・三角形や四角形の特徴を理解し, 活用する問題ができなかった。
<必要と思われる取組>	
<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットや大型テレビ等の機器を利用し, 数直線を拡大して見やすくしたことで, 読み取りがしやすくなったと考えられるので, 今後も積極的に活用していく。 ・一度学習したことを忘れてしまうところが見られるので, スキルタイムや家庭学習などで時々復習しながら進める。 ・問題の意味をよく捉えられていないと考えられるので, いろいろな問題に触れさせる機会を多くする。 <p>(かけ算, 3つの数の加法の工夫, 三角形や四角形の問題等)</p>	

<第3学年> (現4年生)

国語

<全体傾向>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「言語についての知識・理解」は定着が見られ、全国平均を上回っている。 ・「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」についてはB（概ね満足できる）段階に達している児童が全国平均を大きく上回った。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・文字数が提示してある問題では、それを手掛かりにして内容を適切に取り出すことができた。 ・ローマ字の長音や拗音の表記を正しく理解することができていた。 ・話すことや話合いに関する意欲が高い子が比較的多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要旨を聞き取る、要点を読み取るなど、叙述に沿って正しく理解し、大事なことをまとめることが苦手である。 ・文末の表現に気を付けながらメモを整理して文章を書くことができなかった。 ・漢字を読んだり書いたりすることは、前学年の漢字でも誤答が多かった。
<必要と思われる取組>	
<ul style="list-style-type: none"> ・説明文では文章の構成や要点を考えながら読む、物語文では様子や登場人物の気持ちを想像しながら読むなど、読む目的を明確にして重点化して取り組ませるようにする。 ・国語の学習で学んだことを生かして他教科においても書く活動を積極的に設定し、詳しくしたり、まとめたりするなど、いろいろな様式に合わせて書くことに慣れさせる。 ・スキルタイムや宿題などを活用し、手紙の書き方、国語辞典の使い方、指示語の内容理解、漢字の読み書きなどの復習を行い定着を図る。また、ある程度長い文章を読むことに慣れさせ、できるだけ語彙を増やすことができるようにする。 	

算数

<全体傾向>	
<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形についての「知識・理解」が問われる問題の正答率が全国平均を上回った。 ・「数学的な考え方」を必要とする問題の正答率は全国平均を大きく上回っている。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・長さを測るために適切な計器を選択することができた。また、mとkmの単位間の関係を正しく捉えることができた。 ・はかりの目盛りを正しく読み取り、全体の重さから、必要な分の重さを求めることができた。 ・乗法の性質や計算方法が分かり、計算の間違いを指摘することができた。 ・円と球の半径と直径の関係を理解し、説明したり、身近な問題を解いたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある時刻から一定の時間より前、後の時刻を適切に答えることができなかった。 ・中心から円周まではどこも同じ長さであるという半径の特徴を活用した身近な問題に答えることができなかった。 ・出発地点から目的地までの距離を求めることはできるが、道のりの途中にある目標物間の距離を正しく求めることができなかった。 ・かけ算の筆算やあまりのあるわり算の計算で誤答が多かった。
<必要と思われる取組>	
<ul style="list-style-type: none"> ・時刻と時間、円と球、長さの学習は学年末の復習の際に重点的に取り上げ、基礎的・基本的事項の確認とともに、生活の中でも活用できるような問題に取り組ませる。 ・図などを使いながら四則計算それぞれの意味について確認する。また、宿題やスキルタイムを活用し、速く正確に計算ができるように練習する。 	

< 第 4 学年 > (現 5 年生)

国語

< 全体傾向 >	
<ul style="list-style-type: none"> ・「読む能力」「書く能力」については全国平均を上回った。 ・「国語の学習への関心・意欲」が低い傾向が見られ、「言語についての知識・理解・技能」については補充学習が必要である。 ・話し手の意図を考えながら聞く力を高めていく必要がある。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・説明を注意深く聞き取り、話の内容を適切に捉えることができた。 ・物語文の叙述を基に登場人物の心情を適切に捉えることができた。 ・物語文の書き方で工夫されているところに気付き、適切に選択することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の段落の構成を正しく捉えることができなかった。 ・発表の内容を分かりやすく伝えるために適切な資料を選ぶことができなかった。 ・友達の発表に対してふさわしい質問を選ぶことができなかった。
< 必要と思われる取組 >	
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した説明文の段落の構成を図で表す活動に取り組み、内容の大体をつかむことができるようにさせる。宿題やスキルタイム等で扱う短い説明文の段落の構成を話し合いながら図に表す活動も積極的に取り入れていく。 ・話の内容に対して適切に質問できるようにするために、話し手の意図を考えながら聞く練習を積ませる。対話的な学びを重視し、どの教科の学習においてもペアやグループで意見交換したり、考えを練り合うような場面を設定するようにする。 	

算数

< 全体傾向 >	
<ul style="list-style-type: none"> ・「数学的な考え方」を必要とする問題を苦手とする児童が多い。 ・数量や図形についての「技能」「知識・理解」については全国平均を下回っており、今後重点的に復習をしていく必要がある。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな数の位の構成を理解し、指定された位の数字を答えることができた。 ・気温調べについての折れ線グラフを適切に読み取ることができた。 ・小数の仕組みをよく理解し、小数点をそろえて正確に足したり引いたりすることができた。 ・示された地図と小数の計算を利用して、指定された建物の間の道のりを正しく求めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・90度よりも大きな角度を調べる時に、分度器を正しく読み取ることができなかった。 ・三角定規を組み合わせて作った図形の角度を答えることができなかった。 ・面積を表す単位を正しく換算することができなかった。(1㎡=□c㎡) ・与えられた条件で四捨五入した結果を正しく答えることができなかった。 ・商とわる数、あまりの関係を式に表し、わるる数を求めることができなかった。
< 必要と思われる取組 >	
<ul style="list-style-type: none"> ・分度器や三角定規を使って様々な図形を調べたり作図したりする復習に取り組む。 ・「上から○けたまでの概数に」「百の位までの概数に」「千の位で四捨五入をして」といった条件に合うように概数を求める練習を重ねるようにする。 ・数量関係を正しく捉えさせることを重視した家庭学習プリントに取り組ませる。 	

<第5学年> (現6年生)

国語

<全体傾向>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く能力」については全国平均を上回っている。 ・「書く能力」「読む能力」については全国平均をやや下回っている。 ・「言語についての知識・理解・技能」については補充学習が必要である。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・説明を注意深く聞き取り，話の内容を適切に捉えることができた。 ・意見文を読み，その書き方の工夫を理解し，適切に選ぶことができた。 ・話合いの様子を読み，その情報を整理することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文の主題を捉えたり，空欄に入る適切な表現を選ぶことができなかった。 ・漢字の由来を理解し，適切に選ぶことができなかった。 ・適切な仮名遣いを選ぶことができなかった。
<必要と思われる取組>	
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な説明的文章に触れる機会を設け，その要旨をまとめる活動を取り入れ，正しく主題を捉えることができるようにする。 ・言語事項に関する指導を丁寧に行うとともに，授業の導入や宿題等で，漢字の由来や仮名遣いの復習を定期的に取り入れるようにする。 	

算数

<全体傾向>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「数学的な考え方」を必要とする問題，「図形や数量についての知識・理解」について問われる問題の正答率は全国平均と同程度であった。 ・図形の面積や体積を計算で求める技能が十分に定着していない傾向が見られた。 	
全国との比較で上回るもの	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・乗法を用いる場面であることを理解し，正しく小数の乗法計算をすることができた。 ・三角形や四角形の角の特徴を理解し，内角の和の合計を求めることができた。 ・約数，公約数という言葉の意味を正しく理解し，最大公約数を選択肢から選ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・除数と被除数に同じ数をかけて（小数÷小数）を（整数÷整数）に置き換えても商は変わらないことを理解できていなかった。 ・多角形の角の大きさは三角形の角の大きさの和を基にして求められることを理解できていなかった。 ・立方体の性質や，体積の求め方について理解できていなかった。
<必要と思われる取組>	
<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の性質（わる数，わられる数に同じ数をかけても商は変わらない）について繰り返し指導していく。 ・図や式などを用いて問題を解決し，児童が互いに図や式の意味を解釈し合う活動を設ける。また，式の意味を言葉で過不足なく説明できているか確認し合う時間を設ける。 ・公式が完成するまでの過程を大切にし，公式の基になっている考えを言葉で表せるようにする。 	